

平成21年度決算報告

一般会計	普通会計
	公営事業会計
特別会計	国民健康保険特別会計
企業会計	診療所特別会計
	介護保険特別会計 等
	公営企業会計(病院・下水道等)

地方公共団体の会計は、一般会計と特別会計に区分されていますが、全国的に使われている共通ルールでは、普通会計と公営事業会計とに区分して整理します。

普通会計

皆さんに納めていただいた税金がどのように使われたのかをお知らせします。今回は、合併後初めての決算です。合併する前の団体分も合わせた、1年間分の普通会計についてお知らせします。

市民一人あたりのサービス50万円

※平成22年4月1日現在の人口(122,168人)で算出。

歳入決算額 641億2,587万円

自主財源 46.7%	市民一人あたりの税負担 14万円
	市税 174億4,791万円 27.2% 皆さんから納めていただく市民税(個人・法人)や固定資産税など
	諸収入 51億7,239万円 8.0% 貸付金の元利収入など
	その他 73億6,171万円 11.5% 分担金・負担金、繰入金、繰越金など
依存財源 53.3%	地方譲与税等 21億111万円 3.3%
	地方交付税 153億8,854万円 24.0% 人口や税収に応じて、国から再配分されるお金
	国庫・県支出金 124億3,621万円 19.4% 特定の目的のために国や県から交付されたお金
	市債 42億1,797万円 6.6% 市の借金のこと

歳入の特徴

市税は前年度比24.6億円の減収となりました。また、歳入の構成割合は、地方交付税が全体の約1/4を占めており、地方交付税に頼らざるを得ない財政体質となっています。

歳出決算額 614億871万円

義務的経費 34.1%	人件費 102億6,637万円 16.7% 職員給与、議員報酬など
	扶助費 64億7,751万円 10.5% 各種医療費の助成や児童手当など
	公債費 79億2,993万円 12.9% 借り入れた市債の返済のためのお金
経費的 21.1%	投資的経費 78億8,982万円 12.9% 道路や公園、学校などの建設費など
一般行政経費 44.8%	物件費 77億6,088万円 12.6% 賃金、旅費、消耗品費、備品購入費など
	補助費など 106億9,448万円 17.4% 特定の事業や団体への補助金や湖北広域行政事務センターなど
	繰出金 55億2,533万円 9.0% 特別会計に繰り出したお金
	その他 48億6,436万円 8.0% 維持補修費、積立金、投資及び出資など

歳出の特徴

人件費は前年度と比べ職員数は減少しましたが、合併年度で退職者が多かったため10億円の増となりました。また、経済状況の悪化もあり、扶助費が増加しました。



P8 出前講座(獣害対策)



P14,15 水の駅まつり



P19 市営住宅募集(八幡中山団地)



P26 きゃんせ土曜日(長浜地方卸売市場)

広報ながはま

平成22年 12月号

Contents

- 特集 平成21年度決算 3P～7P
- 出前講座(獣害対策)、安全・安心メール 8P
- 子どもの健康と環境に関する全国調査 9P
- 新しい民生委員・児童委員 10P～13P
 - 主任児童委員
- ほっとにゆーす 14P・15P
 - 全国地芝居サミット/石田三成生誕450年祭など
- 住民基本台帳カード 16P
- 入札参加資格審査申請受付 17P
- 緊急人材育成支援事業 18P
- 市営住宅入居者募集、税 19P
- 市有地売却、市政の動き 20P
- 座ぶとん会議 21P
- 国民年金、市長コラム「至誠通天」 22P
- 人権 23P
- 多文化共生、消費生活相談、環境 24P
- 生涯学習、スポーツなど 25P
- インフォメーション 26P・27P
- 裏表紙 浅井三姉妹博覧会前売券発売中 28P

今月の表紙

芸術の秋 文化祭

写真は、10月下旬から11月中旬にかけて、市内各地で催された文化祭の舞台発表の様子です。舞台発表ではコーラスや踊り、サックス、和太鼓、箏の演奏など各地域で活動する様々な団体やサークルなどが日ごろの練習の成果を披露されました。